

●財務処理α Version 8.503

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 平成27年中小企業実態基本調査（平成26年度決算実績）に対応しました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理α (VERSION:8.503) の変更点”を参照してください。

財務処理α (VERSION : 8.503) の変更点

改正

I. 平成 27 年中小企業実態基本調査 (平成 26 年度決算実績) 対応

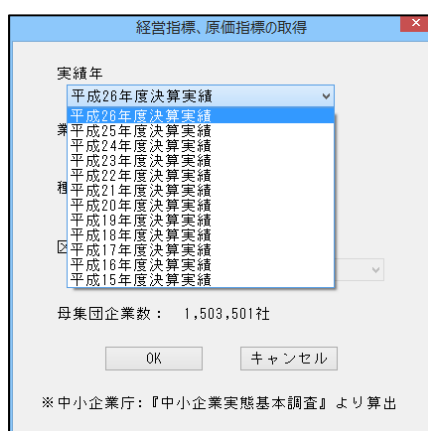
1) 出力(DX・ProⅡのみ)

①経営分析標準率

- ・中小企業庁の平成 27 年中小企業実態基本調査 (平成 26 年度決算実績) 確報を元にした標準率テーブルを追加しました。
- ・中小企業庁の平成 26 年中小企業実態基本調査 (平成 25 年度決算実績) 確報の訂正に伴い、平成 25 年分のテーブルを更新しました。

「変動損益計算書」「比較経営分析指数表」に“標準値”として取り込み可能です。

科目設定・残高登録の分析登録の「標準率・分析指数」「比較経営分析表 (経営指数)」に“標準値”として取り込み可能です。



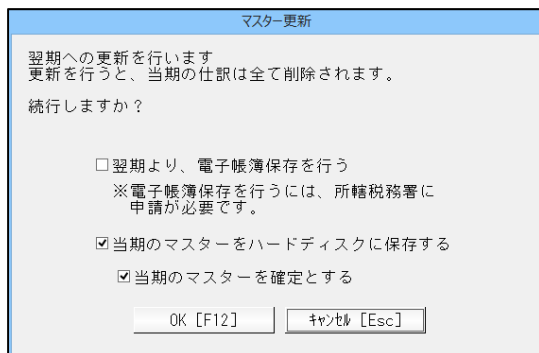
改良・修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

①更新ダイアログ

- ・電子帳簿保存の注意文言を追加しました。



②工事台帳マスター

- ・一括税抜き処理 (決修月)、一括税抜き処理 (決算月) マスターを更新すると、工事残高の期首残高の各工種科目の区別の内税に税抜金額で更新するべきところ、税込金額で更新されていたのを修正しました。

※一括税抜き処理（月単位）マスターは問題ありません。
該当マスターは「前年度からの更新」を行ってください。

2) 前年度からの更新

①工事台帳マスター

- 一括税抜き処理（決修月）、一括税抜き処理（決算月）マスターを更新すると、工事残高の期首残高の各工種科目の区分別の内税に税抜金額で更新するべきところ、税込金額で更新されていたのを修正しました。

※一括税抜き処理（月単位）マスターは問題ありません。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

①検索項目

- 仕訳入力の検索項目に「資産：取得/譲渡」の条件を追加しました。
「なし」・「取得」・「譲渡」から選択可能です。

税額: NOT	資産: なし
消費税: □科目の設定と異なる仕訳	なし
変動事由: -----	取得
	譲渡

取得・・・「取得譲渡：取得、取得（相殺）」の仕訳を検索します。

譲渡・・・「取得譲渡：譲渡、譲渡（相殺）」の仕訳を検索します。

②伝票入力／出納帳入力

- 未登録部門（未登録工事番号）を入力した時、通常入力と同じメッセージを表示して、カーソルを「いいえ」に置くように動作を統一しました。

仕訳入力

部門[0003]は登録されていません！
登録しますか？
(はい...自動登録、いいえ...部門入力に戻る)

はい(Y) いいえ(N)

2) 元帳検索

①証憑番号の確認・修正に対応

- 元帳検索画面で証憑番号の確認、修正ができるように対応しました。

番号	日付	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	変事	付箋
793	12/31	0001	役員報酬	現金	2,000,000		不課		

伝票 証憑 1234 摘要 12月分役員報酬

②部門番号／工事番号表示に対応

- 検索指定画面に「部門番号／工事番号を表示する」機能を追加しました。

※「工事番号を表示する」は建設マスターのみ表示します。

「部門番号を表示する」 / 「工事番号を表示する」にチェックを付けると、仕訳修正画面に「部門」「工事」の列が表示されます。

番号	月日	科目	部門	工事	摘要	税	借方	貸方	差引残高
14	1. 1	完成工事高 1	0001	00000001		内 8	100,000		100,000
1	1. 1	完成工事高 1. 1 月分	0001	00000001		内 8	10,000,000		10,100,000
2	1. 1	完成工事高 1. 1 月分	0001	00000001		内 8	10,000,000		20,100,000

③ 「仕訳の続きを表示」ボタンに色を付け目立つように対応しました。

④ [F6 設定]

- ・ 「残高問合せからの移行時、単一指定にする」を追加し、チェックON時は、該当科目のみ読み込むように対応しました。

元帳検索の検索指定で単一科目だけを指定した状態と同じになります。

⑤ 検索指定で、単一科目指定で検索を行い、その後に検索指定で前回選択科目を含む科目範囲指定をして仕訳修正画面を表示すると、前回検索した科目から表示していたのを、範囲指定の先頭科目から表示するようにしました。

例：「当座預金 2」を検索した後、「当座預金 1」～「当座預金 3」で検索すると、「当座預金 2」が表示されていたのを、「当座預金 1」を表示するようになります。

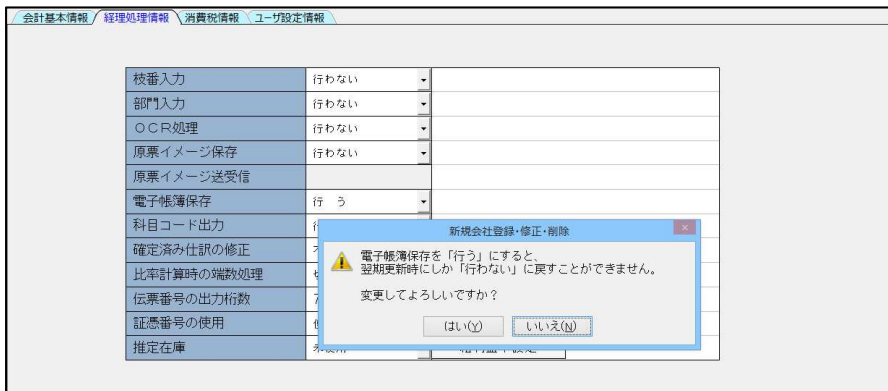
《元帳検索補足》

- ・ 検索指定画面で各設定等を変更して再検索すると、先頭の科目に戻すようにしています。経理処理・部門・形式・仕訳検索期間・画面表示設定等の切替が該当します。
- ※ 科目指定を行っている場合は指定している科目範囲の先頭の科目を表示します。
- ※ 科目指定を行っていない場合は発生のある先頭の科目（諸口・現金等）を表示します。

3) 新規会社登録・修正・削除

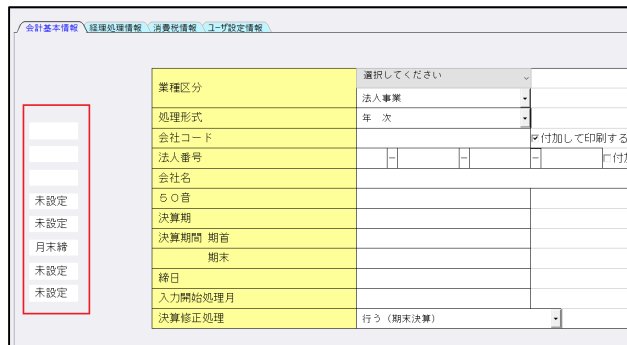
① 電子帳簿保存

- ・電子帳簿保存を行うにした時に、メッセージを表示するようにしました。



② 画面表示

- ・ワイド画面で起動後、画面を最小化後、最大化した場合など、一部表示位置がずれていたのを修正しました。



Ⅲ. 出力

1) 総勘定元帳

① 設定画面

- ・枝番の選択で、番号欄にカーソルを置かずに、▼をクリックすると、枝番一覧が表示されなかったのを修正しました。[F8 合計転記] も同様の対応を行っています。

2) 資金繰実績・予定表(DX・Pro IIのみ)

① 明細出力対応 (資金繰科目の内訳表示・出力の対応)

- ・「明細出力」ボタンを押すことにより、資金繰科目の内訳表示・出力ができます。

※内訳部分は入力不可。

実績月数 6ヶ月 ▼ 明細出力

(入力単位 : 円)

項目	上昇率	25年 7月
前月繰越高		349,774
売上高1		
売上高2		
売上高3		
売上高4		
売上高5		
売上高6		
売上高7		
売上高8		

② [F8 出力科目設定]

- ・定期性預金～短期借入金欄を、別科目に変更することを可能にしました。



区分	科目
合計	固定性預金
合計	受取手形
合計	売掛金
合計	支払手形
合計	買掛金
合計	短期借入金

↑ Insertキーで合計科目呼び出し。

OK キャンセル

※合計で「固定性預金」を選択した場合、画面・帳票とも「定期性預金」と表示します。

[区分]

- ・合計／明細／分析を切り替えます。

区分
合計
明細
合計
分析

【合計】：Insert キーで合計科目を呼び出します。

合計科目選択		
資産	負債	合計
純資産	純負債	純合計
当	期	損益
負債	・	純資産
営業	利益	益
売上	総	利益
経	常	原
税	引	前
当	期	純
当	期	純
当	期	純

確定[Enter] キャンセル[Esc]

【明細】：科目コードを入力、又はカナ検索します。

区分	科目
明細	151
合計	受取手形

科目選択 (7)		
1.	定期預金	1
2.	定期預金	2
3.	定期預金	3
4.	定期預金	4
5.	定期預金	5
6.	電話加入権	
7.	手形売却損	

全科目 キャンセル No. 1

【分析】：Insert キーで分析項目を呼び出します。

分析項目選択		
総資本	営業	利益
総資本	経常	利益
総資本	当期	純
自己	資本	当期
売上	高	総
売上	高	営業
売上	高	経常
売上	高	当期
売上	高	対
売上	高	対
売上	高	対

確定[Enter] キャンセル[Esc]

③定期性預金～短期借入金の予定欄に、実額入力できるようにしました。

・各月残高で入力します。残高入力の為、累計欄は集計しません。

※実績欄も各月残高を集計している為

項目	上月末	26年9月(予定)	26年10月(予定)	26年11月(予定)	26年12月(予定)	27年1月(予定)	27年2月(予定)
預り金							
小計							
定期性預金預入							
短期借入金返済							
長期借入金返済							
固定資産購入							
預り金支払							
小計							
次月繰越高		4,027,589	4,027,589	4,027,589	4,027,589	4,027,589	4,027,589
定期性預金							
受取手形							
売掛金							
支払手形							
買掛金							
短期借入金							

④印刷

・印字設定：応用設定

縮小印刷に対応しました。



⑤画面表示

・会社切替後の指定月が、切替前と同じ時、会社切替後に定期性預金以下の金額が表示されなかったのを修正しました。

IV. グラフ (Pro IIのみ)

1) 集合科目での出力に対応しました。

科目別比較グラフ

複合比較 (5科目) グラフ

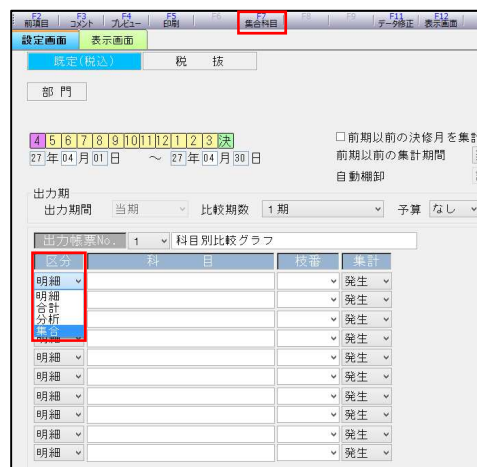
部門対比 (5科目) グラフ

科目別比較推移 (予測) グラフ

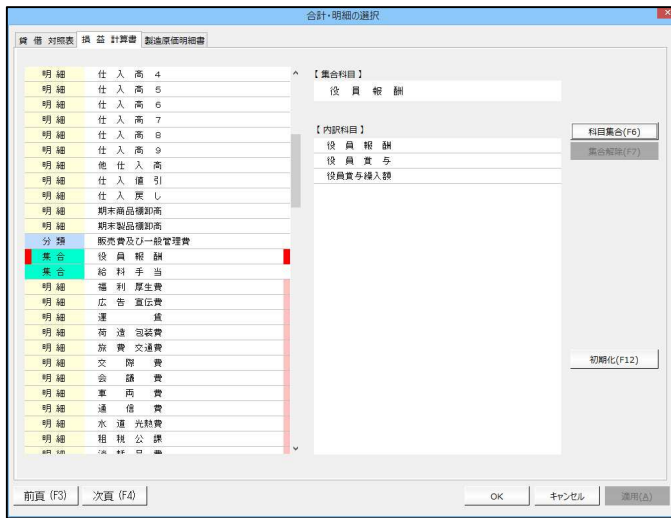
複合推移 (5科目) グラフ

部門対比推移グラフ

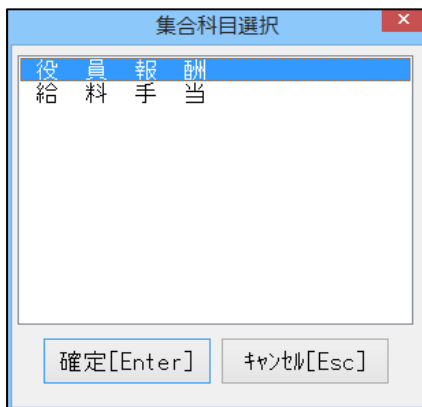
Zチャート



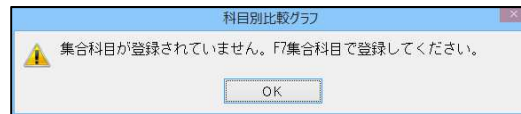
- ・区分に「集合」を追加しました。予め【F7 集合科目】を行ってください。
【F7 集合科目】
 - ・操作は試算表・分析表のF7 合計・明細と同様です。明細科目のみ表示します。
- ※試算表・分析表の合計・明細とは連動していません。



- ・科目欄で Insert キーを押すと、集合科目選択を表示します。



※集合科目未登録時は下記メッセージを表示します。

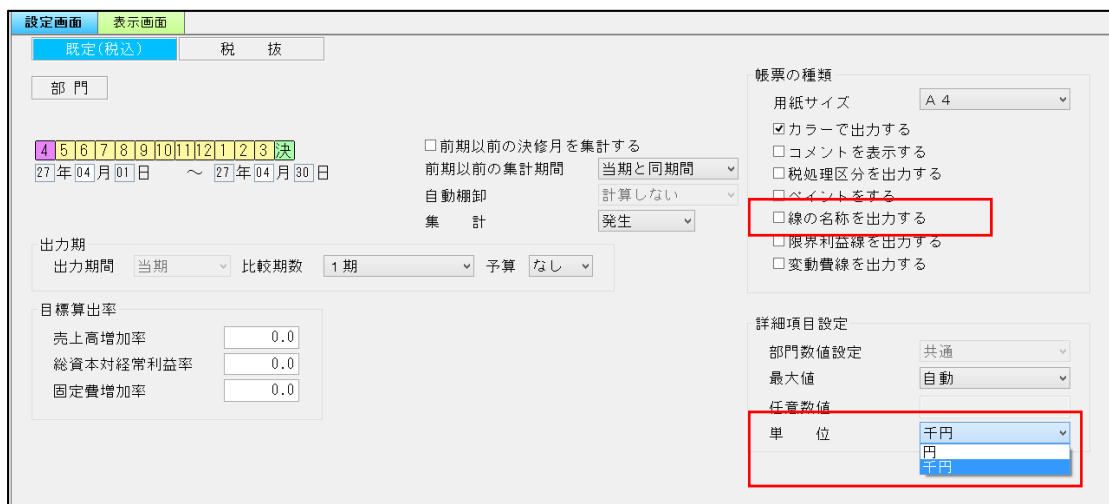


2) 損益分岐点図表

①単位の選択に対応しました。

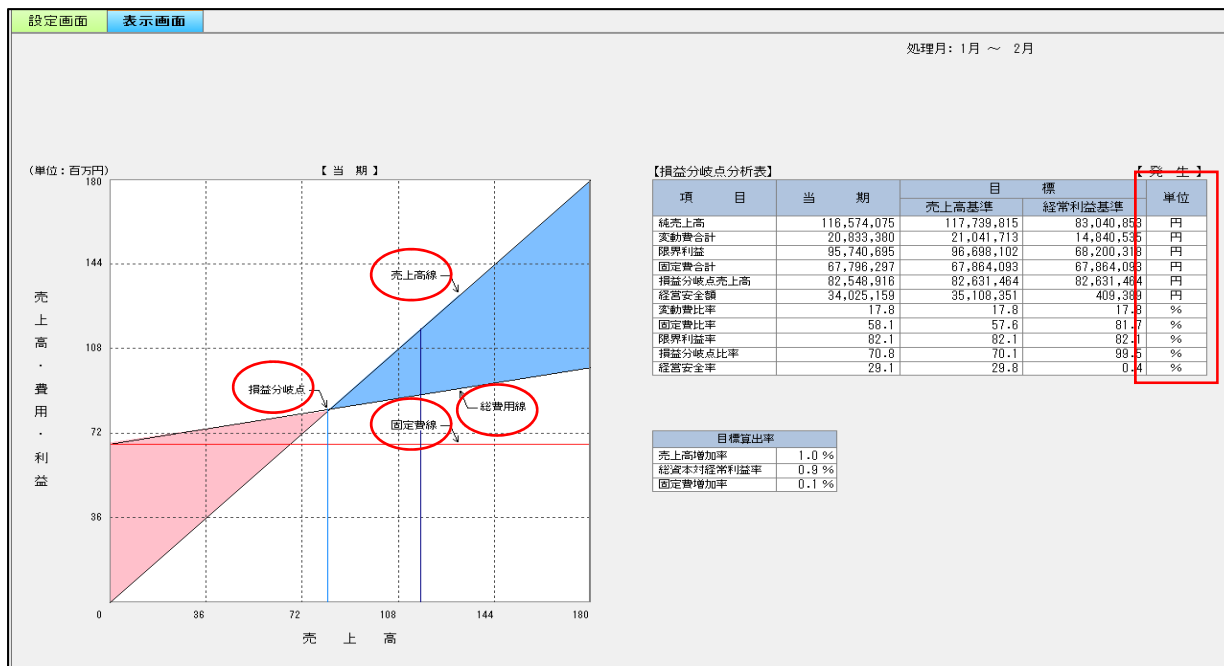
- ・単位を「円」「千円」から選択します。（初期値は従来と同じ「千円」としています。）

※グラフ描画の単位は従来通りです。



②「線の名称を出力する」を追加しました。

- ・「売上高線」「総費用線」「固定費線」「限界利益線」又は「変動費線」の名称を出力します。



3) 枝番入力をコンボボックス形式に変更しました。

科目別比較グラフ

複合比較 (5科目) グラフ

部門対比 (5科目) グラフ

科目別比較推移 (予測) グラフ

複合推移 (5科目) グラフ

部門対比推移グラフ

Zチャート

A B C分析・パレート図

出力帳票No. 1 科目別比較グラフ

区分	科 目	枝 番	集 計
明細	売 上 高 1	0001 本社	発生
明細		0002 東京	
明細		0003 神奈川	
明細		0004 埼玉	
明細		0005 愛知	
明細		0006 大阪	
明細		0007 広島	
明細		0008 愛媛	
明細		0009 福岡	
明細			発生
明細			発生
明細			発生

※枝番の直接入力も可能です。

4) 個人マスター「青色申告特別控除後の所取得金額」を合計科目に追加しました。

科目別比較グラフ

複合比較（5科目）グラフ

部門対比（5科目）グラフ

科目別比較推移（予測）グラフ

複合推移（5科目）グラフ

部門対比推移グラフ

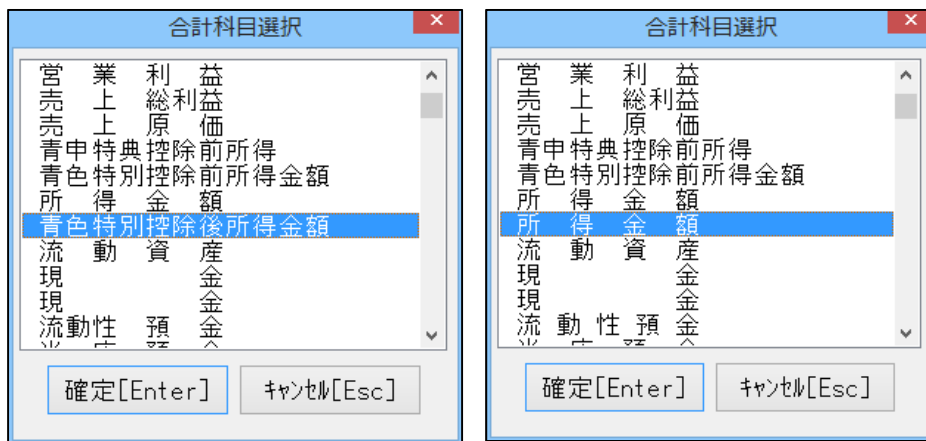
- ・標準科目体系

所得金額と流動資産の間に「青色特別控除後所得金額」を表示します。

※簡易科目体系は、所得金額が2段表示されます。下段が「青色特別控除後所得金額」に該当します。

標準科目体系

簡易科目体系



※法人・建設・運送・病院の個人事業マスターには対応していません。

5) 折れ線グラフの表示を変更しました。

- ・折線グラフの線を従来より若干太くしました。

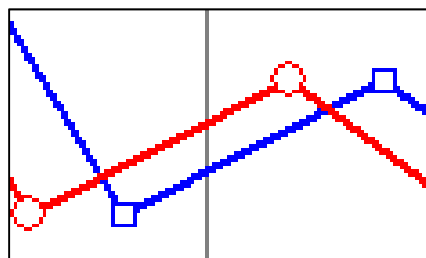
売上関係図表

科目別比較推移（予測）グラフ

Zチャート

- ・当年度と過年度が重なる場合、当年度の折れ線を上に出力するように変更しました。

例) 赤線が当年度



6) その他修正

売上関係図表

- ・前々期の事業期間が1年あり、前期が期間変更の為、1年未満で当期が1年ある場合、前期が1年未満の期間分の金額のみが表示されて、前々期も前期と同じ1年未満の期間分の金額が表示されていたのを修正しました。
- ・差異を率にして作成している表の金額の単位を変更すると、比率の数値も変わっていたのを修正しました。

前年実績比較推移グラフ

資産・資本構成図表

損益構成図表

損益分岐点図表

科目別比較グラフ

複合比較（5科目）グラフ

部門対比（5科目）グラフ

科目別比較推移（予測）グラフ

複合推移（5科目）グラフ

部門対比推移グラフ

- ・過年度で部門入力を行わないに設定し、当期では部門入力を行うにしている場合、科目設定残高登録業務で前期残高を入力し、既定の設定で出力しても反映されなかったのを修正しました。

損益分岐点図表

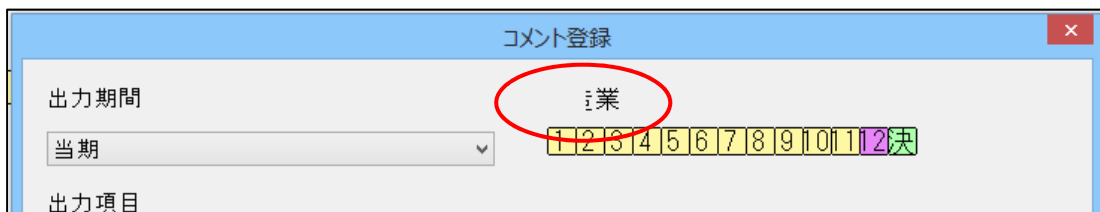
- ・比較期数を1期とし、オプションの基準とする年度を「前期」にすると、目標の売上高基準が空欄になっていたのを修正しました。

前期対比レーダーチャート

- ・従業員数と日数に入力した数値が、プレビュー後初期化されていたのを修正しました。

業種別レーダーチャート

- ・F8 コメント内に表示される業種名が解像度により、一部欠けて表示されていたのを修正しました。
解像度：1920×1080、1280×1024



Ⅶ. 工事台帳（建設上手くんのみ）

- ・「枝番未登録チェックを行わない」が機能していなかったのを修正しました。

以上